

■ 株式会社横浜銀行

023-FY2022-01

地域企業の持続的成長をサポート

【原則1】【原則2】【原則3】【原則4】【原則5】【原則6】

お客さまの抱える課題に真摯に向き合い、経営戦略に深く関与する付加価値の高いソリューションをグループ一体となって提供することで、地域企業の持続的な成長に貢献していきます。

■ SDGs事業性評価

横浜銀行は、お客さまとのエンゲージメント手段の1つとして、2021年10月に全国で初めてSDGs事業性評価の取り組みを開始し、お客さまとの対話を推進しています。SDGs事業性評価では、お客さまのSDGsに関する取り組みの状況について対話を通じて把握・分析のうえ、経営課題等に関する評価レポートを提供します。なお、2022年3月までに約150社に対してSDGs事業性評価を実施しました。

■ GHG(温室効果ガス)排出量算定・可視化支援

横浜銀行は、2022年1月から3月に伊藤忠エネクス株式会社および株式会社ゼロボードと温室効果ガス排出量の算定・可視化支援に関する実証実験を、お取引先である株式会社ミツバ、工藤建設株式会社、東京コスモス電機株式会社と実施しました。企業自らによる直接的なGHG排出(Scope1)や他社から提供された電気等の使用による間接的なGHG排出(Scope2)、Scope1、2以外の間接的な排出などバリューチェーン全体のGHG排出(Scope3)の算定支援に取り組みました。

■ SDGsサステナビリティ・リンク・ローン

横浜銀行は、2022年5月に大貫繊維株式会社向けに、浜銀総合研究所の評価を活用したSDGsサステナビリティ・リンク・ローンによる資金協力をしました。SDGsサステナビリティ・リンク・ローンは、環境課題や社会的課題の解決に向けたサステナビリティ活動の目標値として、「サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(SPTs)」をお客さまが設定し、その達成度合いに応じて借入条件が変動する仕組みの融資商品です。同社は、本ローンによる資金調達を通じて、同社が掲げる「環境保全に向けた取り組み」を進めています。

■ SDGsグリーンローン

横浜銀行は、2022年2月に株式会社三崎恵水産、3月にリソルの森株式会社に対して、SDGsグリーンローンによる資金協力をしました。本ローンによる資金調達を通じて、株式会社三崎恵水産とリソルの森株式会社は、設備投資、またはシステム投資をおこない、CO₂排出量の削減を進めています。なお、本ローンは資金の使い道を各種国際原則などにおける環境改善(グリーン分野)の適格プロジェクトに特定し、資金協力後も調達資金の管理やレポートングを通じて、透明性が確保されるローン商品です。

■ ソリューション能力の高い人財の育成

「ソリューション・カンパニー」への転換に向けて、実効的な研修体系の構築に加え、研修費用や資格取得推奨のための支援金など、研修および自己啓発による人財育成への投資を強化しています。

研修体系では、上位レベルの研修では外部講師を活用した実践型の提案演習を取り入れることで提案力強化をはかり、基礎レベルの研修では実際の案件に1人で対応できるレベルをめざし、ニーズ発掘から社内稟議、契約手続きまでを一気通貫で学ぶことができる実践型の内容を取り入れています。

自己啓発では、高度な公的資格の取得を支援するために、従来取り組んでいる資格取得時の支援金を拡充したほか、キャリア開発応援金(資格取得のための資格学校等への通学費用の一部負担)や、資格取得定額支援金(資格取得後に一定額を継続支給)の仕組みを新たに導入し、一人ひとりの自発的な挑戦・成長を支援しています。